

食育に関する取り組みについて

1. 平成28年度実績

市民が食に関する知識や食品を選択する能力を習得し、よい食生活をの実践につなげられるよう、啓発をメインとした取り組みを行った。

実施にあたっては、東松島市食育推進協議会の委員のみなさまの意見を伺いながら企画した。

(1) SNSを活用した食育啓発事業

料理レシピサイトクックパッド掲載レシピ 64レシピ

レシピ閲覧数 約16万アクセス

毎月19日の食育の日に合わせた食育メールマガジンの配信

会員数 132人

(2) 市報ひがしまつしまを活用した食育啓発事業

- ・毎月1日号「食のリレートーク」連載(第63回～74回)
- ・平成28年4月1日号「食育推進計画の内容と市民の食育活動の紹介」
- ・平成28年11月15日号「市食育推進プロジェクトの内容紹介」
- ・平成29年1月1日号
「生活習慣病の重症化予防について」(減塩等の啓発も実施)

(3) 食育イベント「ひがしまつしま食べメッセ」開催

2月に実施。

参加者数 1,050人、満足度92.4%

関係機関団体数 21団体

(庁舎内の横断連携と関係者との協力の元実施できた)

(4) 食育ポスターコンクール

市内小中学校の児童生徒の作品35点の応募があった。

作品は、市保健相談センターへ掲示するとともに、市報へ掲載し広く啓発を行った。

(5) ひと・しごと・にぎわい創生事業における食育啓発事業

- ・子どもが地元食材を理解することや市内外の人々が地元の食材への関心を高めることをねらいとしたキャラクターストラップを制作し啓発に活用した。
- ほか、ステッカー及び名刺大カードも作成し、ステッカーは市内児童が主体

的に啓発を行えるように、名刺大カードは市役所職員等が名刺交換の際に活用し、市内外に地元の食材や健康な食事について広く発信した。

- ・赤ちゃんが初めて食べる食事である離乳食の進め方のテキストを制作し、4か月時健診等で活用。子育て支援一助とした。

(6) 健康づくり食育セミナーの実施

- ・移転前の宮野森小学校で実施。4学年の学年PTA行事として狭い室内でもできる運動体験と給食試食を通じた望ましい食事の体験学習を行った。参加者全員が、家族や自分の生活改善に取り組みたいとの感想があり、家庭への行動変容への動機付けができた。(親子計52人参加)

(7) 地域における啓発事業

乳幼児から高齢期までの年代を対象に、関係機関や団体等と連携し、体験型の食育活動を行った。

乳幼児期・・・1,542人/43回(保育所含む)

成人高齢期・・・270人/17回(災害公営、仮設住宅等被災者支援含む)

地区組織育成・・・170人/7回

地区組織による啓発実績 542人/12回

(8) その他

- ・健診や相談等で食生活に関する個別相談を実施した人数 1,126人(述べ)
- ・企業による被災者支援(株式会社味の素) 647人/53回
- ・株式会社 明治も実施しているが、支援回数は未把握

2. 平成29年度計画（食育活動支援事業のみで記載）

※地方創生事業である“「協働」「教育」「交流」による地域活性化プロジェクト”として3か年計画の1年目として実施。

（教育委員会との連携事業）

【連携先は、教育委員会関係のみ記載】

（1）「健康づくり食育セミナー」

【連携先】学校教育課、学校給食センター、大曲小学校、
鳴瀬未来中学校（学校栄養士所属先）

- ・親子の健康づくり、生活習慣病の予防を目的とした教室。
- ・平成26年度から実施している継続事業。
- ・毎年1校をモデル校としており、今年度は大曲小学校において学年PTA行事の一環として実施予定。
- ・大曲小学校放課後児童クラブ利用児童を対象とした体験型教室も開催予定。
- ・食と運動を体験できる内容。

（2）食育ポスターコンクール

【連携先】学校教育課、学校給食センター、市内各小中学校

- ・東松島市の食材と健康な食事をPRするポスター作品を市内児童生徒から募集し、受賞作品を通じて啓発を行う。

（3）SNSを活用した食育啓発事業

【連携先】学校給食センター

- ・学校給食で地元食材を活用した人気メニューをインターネット上で広く発信し、望ましい食習慣や地産地消に関するPRを継続実施予定。

（4）市報ひがしまつしまを活用した食育啓発事業

【連携先】宮野森小学校、矢本第一中学校（2学年の職場体験時）ほか

- ・特集記事や定期連載「食のリレートーク」において、学校や生徒の食育に関する活動や思い等を掲載することによって食に関する啓発を行う予定。
- ・今年度既に6月1日号において、表紙は矢本第二中学校生徒さんと二ページ目には、宮野森小学校の取り組みを紹介させていただいている。

（5）食育イベント「ひがしまつしま食べメッセ」開催

【連携先】教育委員会、株式会社グリーンハウス、株式会社ジーエスエフ

- ・次世代をメインターゲットとした体験型重視の食育に関するイベントを2月に開催予定。

(6) 地場産品を活用した「健康な食事」実践事業

【連携先】学校給食センター（今後調整予定）

- ・次世代の望ましい食習慣の定着を目的にスポーツ栄養の視点から地元の食材を活用しながら健康な食生活が実践できるようなテキストを作成しそれらを活用した啓発活動を実施予定